

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道403号 <small>こすどたがみ</small> 小須戸田上バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県	
起終点	自：新潟県新潟市矢代田 至：新潟県南蒲原郡田上町大字羽生田	延長	7.8 km			
事業概要	一般国道403号は、新潟県新潟市を起点とし、長野県松本市に至る幹線道路である。小須戸田上バイパスはバイパス整備により、慢性的な交通渋滞を解消し、円滑な交通の確保、歩行者交通の安全確保及び日常生活圏の連携強化を図る延長7.8kmの2車線（暫定）道路である。					
H8年度事業化	H8年度都市計画決定	H10年度用地着手	H11年度工事着手			
全体事業費	130億円	事業進捗率	36%	供用済延長	1.5km	
計画交通量	23,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 2.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 71 / 125 億円 事業費：63 / 117億円 維持管理費：8 / 8億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 181 / 237 億円 走行時間短縮便益：163/214億円 走行費用減少便益：13/ 19億円 交通事故減少便益：5/ 4億円	基準年	平成17年	
感度分析の結果	-----					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設「新潟市民病院」へのアクセス向上がみこまれる） ・国土地域ネットワークの構築（新潟市及び三条市間のアクセス向上が見込まれる。） 他6項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	一般国道403号は、地域交流の促進、渋滞の解消に重要な役割を果たすことが期待されており、沿線市長村で構成される「国道403号線整備促進期成同盟会」により要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	本田上工業団地がH15より分譲を開始しており、更なる交通量の増加が予想される。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに1.5km（暫定2車線）を供用し、残事業は橋梁2橋を含む6.3kmである。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	遺跡調査及び軟弱地盤対策に時間を要している。引き続き遺跡調査及び軟弱地盤対策を早期に完了させ、町道及び県道接続による部分供用を行いながら、残区間6.3kmの事業を促進する。					
施設の構造や工法の変更等	橋梁形式を見直しコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。